

清涼飲料市場における成長要因に関する研究

1240486 西田玲音

指導教員 林一夫

研究背景

清涼飲料市場の歴史は、新たな飲料の誕生と新たな容器の誕生の積み重ねである。飲料においては、新たなカテゴリーが誕生することにより、清涼飲料市場全体の生産量が増加している。一方、容器においては、種類が豊富であり、飲料ごとにさまざまな容器が使われている。そのため、清涼飲料市場の需要に、容器が何らかの影響を与えていると考えられる。そこで、清涼飲料を「中身」と「容器」の観点から調査し、市場成長に必要な要因を明らかにしたい。

研究目的

本研究の目的は、清涼飲料の「中身」と「容器」という2つの側面から市場を調査・分析することで、清涼飲料市場における成長要因、言い換えると需要増加の要因を明らかにすることである。

研究方法

「中身」については、飲料カテゴリーの生産量増加をサブカテゴリーの視点から調査した。また、外部要因として水道水とアルコール飲料による影響についても調査を行った。「容器」については、最初に容器特性を明らかにした。そして、飲料ごとの容器変遷とそれに伴う生産量の変化を調査した。さらに、これらが受け手に与える影響をカテゴリー・イノベーションの定義に当てはめ検討した。

分析結果

飲料カテゴリーの生産量増加には、機能や成分、含有量が異なる新たなサブカテゴリーの誕生とその成長が必要であることが明らかになった。容器においても、需要を喚起することは可能であることが明らかになった。特に、飲料に求められる機能と容器特性の適合性が高い場合に、需要と容器構成比への影響が顕著であった。そして、新たなサブカテゴリーと新たな容器の誕生には、受け手が飲料や容器を1つの集合として認識する上で、共通点としている用途や便益などを、新たな機能や特性によって変化させるカテゴリー・イノベーションが必要であることが明らかになった。

考察・結論

今後の清涼飲料市場の成長に関して、飲料、容器、飲料と容器の適合性の3つの観点から考察を行った。そして、清涼飲料市場の成長には、カテゴリー・イノベーションによるサブカテゴリーの創出と飲料の機能と適合性の高い容器の創出が重要であると結論づけた。